



令和 5 年 8 月 7 日

(放射線健康管理学講座)

福島県政記者クラブ加盟社 各位

## 福島県相馬市における震災復興の知見を生かしたコロナワクチン集団接種に関する論文が国際誌に掲載されました

公立大学法人福島県立医科大学の医学部生(MD-PhD コース所属)・内山大雅らが行った、震災での教訓を生かして地域密着型のコロナワクチン集団接種やワクチン接種後の副反応調査を実施した福島県相馬市の取り組みに関する調査が、2023 年 6 月 19 日に Public Health 誌に掲載されました。

### 【概要】

COVID-19 のパンデミックから学んだ教訓は、将来のパンデミックに迅速かつ効果的に対応できる強固な公衆衛生的基盤を持つことの重要性である。しかし、ワクチン接種に対する躊躇いや反ワクチン運動は、集団全体で包括的なワクチン接種を達成するための大きな障害として立ちはだかる。ワクチン接種をする上で、行政に対する市民の信頼は極めて重要である。2011 年に発生した東日本大震災は、マグニチュード 9.0 を記録した大地震とそれに伴う津波によって原子力発電所の事故が引き起こされ、過去に類を見ない最悪のものとなった。このような状況にもかかわらず、自治体や地域社会は災害救援活動を確立してきた。ここでは、2011 年の東日本大震災とそれに続く原子力発電所事故で被災した相馬市における SARS-CoV-2 ワクチン接種を推進する取り組みを紹介する。

相馬市では、2021 年 5 月に SARS-CoV-2 ワクチンの集団予防接種を開始し、災害救護活動の経験を応用して地域密着型の集団接種を実施した。また、市役所職員および医療従事者の方々を対象にワクチン接種後の副反応を調査し、その結果をホームページで公表した。

65 歳以上の地域住民の初回、2 回目、3 回目のワクチンの接種率は、2022 年 9 月 25 日現在、それぞれ 94.2%、92.0%、84.4%であった。市役所職員および医療従事者の方々を対象にした副反応調査では、3 回目および 4 回目のブースター接種後に副反応を発症した人の増加はみられず、ブースター接種の安全性は初回および 2 回目の接種と同様であることが判明した。また、ファイザーワクチンとモデルナワクチンの 2 つの異なるワクチンで同様の安全性が確認された。ただし、コホートの規模が小さいこと、退職後の市役所職員や医療従事者が含まれていないことなどが調査の限界として挙げられる。

ワクチンの安全性に関する情報を公表することは、市民に副反応に対する恐怖心を増強しかねないため、ワクチン接種を促進する取り組みに不利に働く可能性がある。こういった懸念があるにもかかわらず、相馬市は副反応調査を実施して積極的に結果を公表し、高いワクチン接種率を実現した。このことから、安全性に関する問題を地域レベルで共有することは、将来のパンデミックにおいて包括的かつ効率的なワクチン接種の展開を支持することにつながると考えられる。

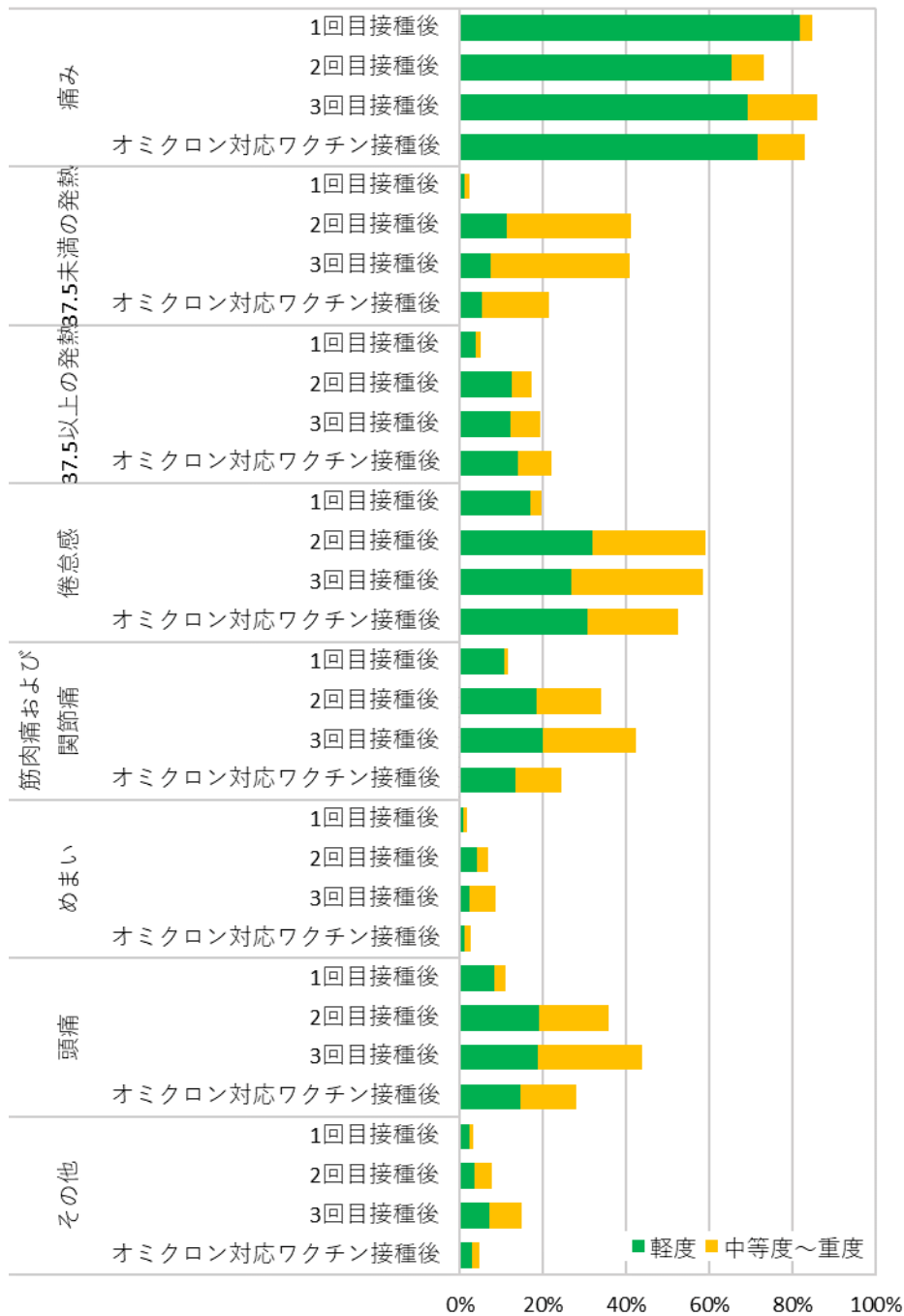


図 1. コロナワクチン接種後の副反応調査の結果

コロナワクチン接種後の副反応に関するアンケート調査の結果を示す。副反応が発生した割合は、接種回数別（1回目、2回目、3回目、4回目接種でそれぞれn=488、474、459、375）および重症度別に示されている。重症度は、「軽度」（日常生活や仕事に支障がない副反応）または「中等度～重度」（日常生活や仕事に支障をきたす副反応）で回答した。

本研究は 2023 年 6 月 19 日に Public Health 誌に掲載されました。



公立大学法人

福島県立医科大学

〒960-1295

福島県福島市光が丘 1 番地

TEL:024-547-1111 (代表)

英文タイトル : Community-based sharing of vaccine adverse event information for public trust: a case of Soma city in Fukushima, Japan (日本語訳 : 地域住民の信頼の獲得を目的としたワクチン接種後の副反応に関する情報の地域密着型共有、福島県相馬市の事例)

※論文の URL : <https://authors.elsevier.com/c/1hHGY7bKC2NmY>

著者 ; 内山大雅、瀧田盛仁、米村浩幸、坪倉正治、渋谷健司

責任著者 : 坪倉正治 (福島県立医科大学放射線健康管理学講座)

連絡先 : tsubo-m@fmu.ac.jp; 電話 024-547-1111 (代表)

●お問い合わせ先

<研究に関すること>

公立大学法人福島県立医科大学 放射線健康管理学講座 担当者名 瀧田盛仁

電話 024-547-1111 (代表)

<広報に関すること>

公立大学法人福島県立医科大学 医療研究推進課 課長 菊地芳昇

電話 024-547-1795